



【いい川情報(私のまちのいい川自慢、見どころ 等)】

広島市の中心部を流れる川は潮位の影響を受ける感潮河川で、干満差は4mにもなります。干満の影響を受けず船を着けることができるよう階段状にした護岸を雁木と言います。戦前から舟運に活用された雁木は市内に400ほどあると言われており、広島の水辺の特徴的な風景の1つです。現在では、気軽に水辺に近づく場であるとともに、川を往来する楽しさを知ってもらい広島の魅力づくりにつなげることを目的としたNPO法人「雁木組」が運営する水上交通「雁木タクシー」の発着場としても活用されています。

【応募理由】

水とのかかわりが深かったことを象徴する歴史的な資源であり、財産です。雁木の利活用により、市民と水辺の新たなかかわり方やまちづくり・観光資源として、広島らしい水辺の創造が期待できるためです。

【撮影者、撮影場所、時期、時間 等】

広島市撮影
広島県広島市西区 (旧太田川(本川))
平成19年4月 日中

【問い合わせ先】

広島市経済観光局観光政策部観光ビジネス担当
電話: 082-504-2676